

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍ということもあるが、地域との交流がほとんどできていない。 ・徐々に落ちてきているADLをどのように向上させていくか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者が地域と繋がりを持って暮らしていけるように取り組んで行く。 ・体操や散歩など毎日運動する時間をつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナが落ち着けば町内の行事や地域包括が開催しているイベントに積極的に参加していく。防災訓練などにも地域の人を呼ぶ。 ・毎日決まった時間(食事前など)に体操を行う。 	12ヶ月
2	23	<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメントについて、ADLについて記載が多くQOLに関する記述や過去の生活歴との関連性が乏しい内容となっている。 ・利用者様の望む暮らしや嗜好など職員は把握しているものの客観的な記録として見える化されていない情報がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ADLだけでなくQOLも意識したアセスメントシートを利用しより、その人らしい生活を支援できるように努める。 ・必要な記録内容の記載漏れをなくす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメントシートの変更を行う。(現在介護システムの導入を検討中)。 ・記録もデジタル化しよりスムーズに記録ができるようにする。 	12ヶ月
3		<ul style="list-style-type: none"> ・同じ献立があまり日をおかずに提供されたり揚げ物が続いたり献立のバランスが悪い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養バランスなども考慮して献立を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作れるものが限られる職員もいるため料理スキルの向上のため、料理本などを用意する。 ・食事作り担当の職員も検討。 	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。